



Optics & Photonics Japan 2006

日本光学会・日本分光学会 合同シンポジウム

分光学と光学の融合と協調

近年、学際的研究が推進される中、既存の学問領域に収まらない研究が今や主流を占めるようになりつつあります。これまで個々の研究領域毎に括られていた学協会にも、同じ名称の分科会が見受けられるようになってきました。時代の趨勢と言うよりは、むしろ時代の要請によると考えられます。本セッションでは、社団法人日本分光学会と日本光学会の若手・中堅の研究者の中から、分野融合的に研究を進められている方々にお集まりいただき、ご自身の先端の研究をご紹介いただき、討論を通じて、垣根が取り払われ融合が進む分光学と光学のこれからを展望できればと思います。

会場 学術総合センター（一橋記念講堂） 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

営団地下鉄半蔵門線 / 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9 出口

営団地下鉄東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3~5 分

参加登録 OPJ2006 への参加登録が必要です。下記ホームページからお申し込みください。

日時 2006 年 11 月 8 日(水) 9:50~16:10

プログラム

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 9:50-10:00 | 開会の挨拶 | 井上 康志（大阪大学） |
| 10:00-10:45 | 日本分光学会会長特別講演 「ナノ光学からナノ分光学への展開」 | 河田 聡（大阪大学・理研） |
| 10:45-11:10 | 広帯域超短パルスファイバレーザー光源 の開発 | 西澤 典彦（名古屋大学） |
| 11:10-11:35 | 有機分子膜の電子振動二重共鳴 SFG 分光 | 石橋 孝章（広島大学） |
| 11:35-12:00 | テラヘルツ・パルスの発生と分光 | 服部 利明（筑波大学） |
| < 昼食 > | | |
| 13:00-13:25 | 仮想光計測概念による新しい表面分析 | 長谷 川健（東京工業大学） |
| 13:25-13:50 | ナチュラルビジョン： スペクトルベース色再現の技術と応用 | 福田 弘之（オリンパス） 山口 雅浩（東京工業大学） 羽石 秀昭（千葉大学） 大山 永昭（東京工業大学） 斎木 敏治（慶応大学） |
| 13:50-14:15 | 近接場分光による電子局在 イメージング（仮題） | 早澤 紀彦（理化学研究所） |
| 14:15-14:40 | 近接場ラマン分光（仮題） | 尾松 孝茂（千葉大学） |
| 14:40-15:05 | 超短パルスレーザーを駆使した 光計測技術（仮題） | |
| < 休憩 > | | |
| 15:20-15:45 | 非線形ラマン分光による 振動分光イメージング | 加納 英明（東京大学） |
| 15:45-16:10 | 偏光モード変換による顕微鏡下での 分子配向観測 | 橋本 守（大阪大学） |

OPJ2006ホームページ <http://www.opt-j.com/opj2006/>

連絡先(企画担当) 井上 康志（大阪大学） inoue@fbs.osaka-u.ac.jp